

◆ 主題名 (生徒に提示するもの)	自分で決めることが大事!
-----------------------------	---------------------

内容項目 D - 19	見出し 生命の尊さ	教材名 臓器ドナー
価値項目 1・2・ 3 ・4		
かけがえのない生命を尊重する		
本時のねらい ・ 生命の尊さを深く理解し、自他の生命をかけがえのないものとして尊重しようとする判断力を育てる。		

主題発問に向かうための導入・場面発問	
導 入	発問 臓器ドナーするorしない?
	補助発問 臓器ドナーって知ってる?
場 面 ①	発問 高井さんはなぜ、娘の臓器提供をしたくない?
	補助発問
場 面 ②	発問 新見さんはなぜ、自分の臓器は提供するが、妻の臓器は提供したくない?
	補助発問
場 面 ③	発問 なぜ臓器提供を迷うのだろう?
	補助発問

◆ 主題発問	生命を尊重することを踏まえて、臓器ドナーをするorしない? また、家族の臓器ドナーを認めるor認めない?
---------------	---

◆ 学び合い活動	場面発問① 場面発問② 場面発問③ 主題発問
	個 ⇨ (ペア・グループ・ フリー) ⇨ 個

留意点等	臓器提供の意思表示を完全にはできない中学生だからこそその教材だと思うので、とにかく生徒を迷わせない。「臓器提供したくないけど、それで困る人がいる・・・」「臓器提供をしてもいいと思っているけど、周りの人が悲しむかも…」などなど。そのためにも、異なる立場の意見交換や生徒の意見に対する問い返しが重要だと考える。
-------------	---



授業後の振り返り

概ね予想通りではあるが、個人は「臓器提供をしてもいい」と考える生徒が多かったが、家族の臓器提供は「認めたくない」と考える生徒が多かった。しかしながら、生徒の反応は、真剣に考える人と、そうでない人とで大きく分かれていたように見える。その中でも、「臓器提供をしたら家族の存在が消えるような気がして…」や、「家族ならきっとそう決断する」など、意見の広がりがあった。反省点は、「死」の定義（脳死＝死？心臓停止＝死？）をもっと明確に生徒にとらえさせることができれば、さらなる意見の広がりが見られた可能性がある点である。